



しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ 作

ポフダン・ブテンコ 絵

うちだりさこ 訳

福音館書店 1969年 800円

水の不思議な性質を描くポーランドの科学絵本です。ある日、村のおばさんのバケツから、水がひとしずくとびだして旅にでます。しずくの冒険のはじまりです。おひさまに照らされて蒸発して雲の上のにぼり、仲間と一緒に雨になって、また地面にもどります。もどった先が岩の割れ目で、寒い夜に氷になって岩を砕いてしまいます。小川の中から水道へ、水道の蛇口から洗濯機の中に、洗濯物と一緒に干されているうちに、蒸気になって外へでます。ところが、寒かったので大きなつららになってしまいます。目にみえない蒸気、空から降る雨、氷、つらら、そして水道からでてくる水、日常生活を取り巻く水の不思議を、しずくの冒険を通してわかりやすく、楽しく描いています。

グラフィック・デザイナーとして活躍したブテンコの絵は、軽快でシンプル、明るい色づかいがスタイリッシュです。文章は手描きの文字で綴られ、「ぐるんぱのようちえん」「たろうのおでかけ」などの画家、堀内誠一がレタリングしています。詩のような訳文は、歯切れが良く、1ページごとに場面が変わるスピーディな展開とともに、物語を読む楽しみも与えてくれます。